

経営学科 山口ゼミ 3年次、4年次の活動概要について

2021年度(3年次)イノベーション・ラボ紹介資料

3年次イノベーション・ラボ	学生が“社会にいいこと”をするラボ
連携先	(株)中国銀行、(株)山陽新聞社
ラボ学生定員	20名
ラボの課題	クラウドファンディングを活用して、学生のアイデアで社会貢献を果たす。
3年次ラボの取り組み概要	<p>急激な社会の構造的変化に即した地域課題解決への大学の知的貢献が目的。結果として、大学の知見を社会に還元したい。</p> <p>学生自身が考える、社会にいいこと、をクラウドファンディングでお金(資金)を調達して、実際に実現する。大勢の方々を笑顔にするラボ。</p> <p>具体的には、学生が、クラウドファンディングのプロジェクトオーナー(プロジェクト開催者)となり、この1年間で数回、クラウドファンディングのプロジェクトを開催、実行する。そうすることで最新のクラウドファンディングのノウハウを、知識だけでなく「実体験」として蓄積でき、併せて社会貢献まで果たすことができる。“いま”、の時代には欠かせないマーケティング手段を身につける。</p>
ラボ参加者にあらかじめ理解してほしいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間外に行う作業も多く、多種多様な企業人が絡むラボだけに、ラボに時間がとられる覚悟が必要。何事もやり遂げるには時間が掛かる事を理解する。 ・企業の人々や関係者の方々とコミュニケーションがかなり大事。 ・チームワークを重視し、積極的な活動を求めることから、授業は休めない。 ・お金を集めるラボだから、個人情報の管理や規則の厳守など、きちんとやらなければ大変な事になる。そこを理解して、頑張る努力が必要。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■何よりも、社会貢献に興味のある学生に来て欲しい! ■社会人になる前に教養と事業を学び自分に付加価値をつけたいと考える学生に来て欲しい! ■岡山という地域における「人びとの幸せの実現」への貢献をしよう!

2022年度(4年次)卒業研究紹介資料

3年次ラボは複数教員による共同開講もありますが、**4年次卒業研究は担当教員が単独で担当**します。

研究室名称	企業戦略ゼミ	担当教員	山口隆久
4年次卒業研究の取り組み概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ゼミの目的：<u>学問を通して生涯の友を得る。</u> ■ゼミ生へのメッセージ： <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会に見え隠れする問題を見つけ、解決するスキルを磨こう 2. 複眼的思考、論理的思考、批判的思考の能力を磨こう 3. 自らイニシアチブを取り、未知の世界に果敢に挑戦しよう <p>山口ゼミでは、「国内外のビジネス」に関する理論と実際をみんなで研究します。ただし最も重視していることは、研究をつうじて相手の思っていることや考えていることを理解する能力、そして自分が伝えたいメッセージを適切な口頭や文章で説明し、より多くの人に理解してもらうことです。</p> <p>また特徴的なのは、毎週のゼミの活動内容や研究テーマ等、いつ何をする</p> 		

	<p>のが自分たちにとってベストなのかを考え、ゼミ生自身が決めていることです。研究内容は経営戦略論やマーケティング論に関するものですが、ビジネス自体の範囲が非常に広いので、学生が選択するテーマは多種多様です。それ以外でも課外活動を含め、色々なことをゼミ生自ら企画立案、実行しています。国内外の発表会や合宿、調査もあります。大学院生や研究生が11人もいて大所帯で賑やかですが組織で動く分面倒な事もあります。ただ、大学生活で自分から何かやってみようという人には最適な場だと思います。</p>
ゼミに参加してほしい学生	<p>山口ゼミの理念である「学問を通して生涯の友を得る」を具現化してほしいと思います。様々な企業人や他大学との交流もあるこのゼミですから、この「友」はゼミ生同士にかぎった話ではありません。だからこそ、適当にやれるゼミではありませんので注意してください笑。気合の入った学生を望みます。</p>
その他注意事項	

担当教員連絡先

研究室	713 号室、	電話	086-256-9752	メール	t-yama@mgt.ous.ac.jp
-----	---------	----	--------------	-----	----------------------

山口ゼミ

経営学科 宮脇ゼミ 3年次、4年次の活動概要について

2021年度(3年次) イノベーション・ラボ紹介資料

3年次イノベーション・ラボ	住み続けたいと思える岡山市の未来創造拠点をつくるラボ
連携先	学外： 協同組合岡山情報文化研究所（ビザビグループ）
ラボ学生定員	約 11 名
ラボの課題	岡山市に大学生として学び暮らすみなさんが、住み続けたいと自ら思える岡山市の未来像を具体的に描き、その実現をめざす持続的な拠点づくりの企画・準備を進めること。
3年次ラボの取り組み概要	<p>本ラボは複数年にわたる継続的な活動となるので、連携先への活動報告とともに、4年次の卒業研究へ進むにあたっての課題整理にも取り組む。</p> <p>●春学期（夏休みを含む）の活動 知的生産性向上の手法およびデザイン思考を学ぶとともに、上記課題の参考となるまちづくり事例を研究する。</p> <p>●秋学期の活動 上記の学び・研究の成果に基づき、連携先に対する活動成果の“見える化”、および4年次の卒業研究へ進むにあたって残された課題の“見える化”に取り組む。</p>
ラボ参加者にあらかじめ理解してほしいこと	<p>●連携先はじめ学外の協力先には、敬意と感謝をもって接すること。</p> <p>●本ラボの取り組みは、同級生と協働するのはいうまでもなく、活動課題を共有する4年次ゼミ生とも特に春学期において協働する意識を持つこと。</p> <p>●やむを得ない場合（部活やバイトは該当しない）を除き、本ラボの予定優先。</p>
その他	<p>●通常の授業と異なり授業時間が変更される場合がある。</p> <p>●フィールドワーク等に伴い時間的・金銭的な自己負担が発生する場合がある。</p> <p>●本ゼミを選択肢の一つとして考える場合は、必ず研究室訪問を行うように。</p>

2022年度(4年次) 卒業研究紹介資料

3年次ラボは複数教員による共同開講もありますが、**4年次卒業研究は担当教員が単独で担当**します。

研究室名称	イノベーション研究室	担当教員	宮脇靖典
4年次卒業研究の取り組み概要	<p>本ゼミは上記ラボと連続した位置づけとなるので、卒業研究の準備・提出に加え、特に春学期において3年次ラボ生との協働にも取り組む。</p> <p>●春学期（夏休みを含む）の活動 知的生産性向上の手法およびデザイン思考を学ぶとともに、卒業研究のテーマおよび進め方を固め、必要な調査やフィールドワークの実施まで進む。</p> <p>●秋学期の活動 夏休みまでの成果に基づき、卒業研究および引き継ぎ課題をまとめる。</p>		
ゼミに参加してほしい学生	<p>●上記「ラボ参加者にあらかじめ理解してほしいこと」を理解できる学生。</p> <p>●卒業後も何らかの形で本ゼミへの協力をお願いできる学生。</p>		
その他注意事項	（上記「その他」に同じ）		

担当教員連絡先

研究室	7階 708号室	電話	086-256-9539	メール	miyawakwak@mgt.ous.ac.jp
-----	----------	----	--------------	-----	--------------------------

経営学科 森ゼミ 3年次、4年次の活動概要について

2021年度（3年次）イノベーション・ラボ紹介資料

3年次イノベーション・ラボ	データサイエンス・ラボ
連携先	本ラボでは、特定の組織団体との連携はなく、学内で実社会の問題解決を図ります。そのため、実データに基づく競技会などへ参加し、課題解決をめざします。
ラボ学生定員	約 11 名
ラボの課題	公開コンペとして開催されている「統計グラフコンクール」や「データ分析コンペティション」に参加し、そこで要求される実データに基づく課題を解決していきます。例えば、前者では社会問題、後者では、与えられた購買履歴などのビッグデータから知見の導出（販売実績アップ策など）が課題となります。
3年次ラボの取り組み概要	<p>学外のデータ分析競技会に参加し、実社会における課題解決を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 春学期 <ul style="list-style-type: none"> ・分析ツールと基本的な統計手法の習得 ・統計グラフコンクール（岡山県）に参加（優秀作品は、全国大会へ） ● 夏～秋学期 <ul style="list-style-type: none"> ・データ解析コンペティション（たとえば日本計算機統計学会主催）に参加（優秀チームは、全国大会へ） ・分析の進行とともに、必要な統計手法等の情報収集と学習
ラボ参加者にあらかじめ理解してほしいこと	当然ながら、データ分析とコンピュータに興味がある人が望まれます。また、作業や分析が進んでくると時間外での活動やチームワークが大切になってくるので、これらを含め、積極的な取り組み姿勢がほしく思います。
その他	他のラボと協力してデータ分析にあたることがあります。

2022年度（4年次）卒業研究紹介資料

3年次ラボは複数教員による共同開講もありますが、**4年次卒業研究は担当教員が単独で担当**します。

研究室名称	統計科学研究室	担当教員	森 裕一
4年次卒業研究の取り組み概要	3年次の経験を基に、社会における実際問題を統計的手法とコンピュータを道具として解決していきます。具体的には、統計手法やソフトをさらにマスターし、より深くデータ分析をしたり、統計関連のツール集を作成するなどです。研究がおもしろくなると大学院に進学して研究を続けます。		
ゼミに参加してほしい学生	データ分析とコンピュータに興味があるだけでなく、「教えてもらおう」より、「自ら学びとってやろう」、「卒業時にはこの分野の専門家になってやろう」という心が大切。卒業研究、目標をもってやっていきましょう。		
その他注意事項	特になし。		

担当教員連絡先

研究室 802号室(A1 8階)	電話 086-256-9652	メール mori@mgt.ous.ac.jp
------------------	-----------------	------------------------

経営学科 久永ゼミ 3年次、4年次の活動概要について

2021年度(3年次) イノベーション・ラボ紹介資料

3年次イノベーション・ラボ	スポーツ×データサイエンス×マネジメント ラボ(仮)
連携先	学外： 岡山県内を中心としたスポーツチームやスポーツ関連組織を想定
ラボ学生定員	約11名
ラボの課題	スポーツチームやスポーツ関連組織が抱える課題に対し、データサイエンスとマネジメントの観点から解決方法の考案・提案・実践等にチャレンジする
3年次ラボの取り組み概要	<p><連携先の選定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本ラボメンバーで、様々な情報を集めて連携先候補を選定する。 ・選定した連携先候補に、課題把握や連携可否のヒアリングやプレゼンを行う。 <p><連携先との協働></p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携先の課題に対して、具体的な解決方法を考案してプレゼンする。 ・その解決方法の実践にチャレンジする。
ラボ参加者にあらかじめ理解してほしいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・学生と教員とで一緒にラボ活動を作り上げるというスタンスのラボです。 ・自身の関心とラボ活動とをうまく結びつけ、自分をモチベートしてください。(ラボで扱うスポーツ種目が、自分が関心を持つものでない場合があります)。 ・ラボメンバー同士での協働を活動の基本とします。 ・授業時間外(週末や休業期間、早朝や夜間等)にも活動する場合があります。 ・スポーツ現場独特の文化を味わうことがあります。 ・成果発表の場として、スポーツデータ解析コンペティションや各学会等への参加も考えています。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず研究室訪問を実施したのちに、希望を提出してください。 ・学外活動では、交通費等の自己負担が発生する場合があります。 ・計画や予定に対し、柔軟な対応を求めることがよくあります。

2022年度(4年次) 卒業研究紹介資料

3年次ラボは複数教員による共同開講もありますが、**4年次卒業研究は担当教員が単独で担当**します。

研究室名称	スポーツデータサイエンス研究室	担当教員	久永啓
4年次卒業研究の取り組み概要	3年次ラボでの取り組みを参考にしながら、各学生自身の関心をベースに卒業研究のテーマや対象を決めていきます。ゼミメンバーによる学内外での活動に限らず、学外連携先内部の活動に関わっていく場合もあります。		
ゼミに参加してほしい学生	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミを通じて、他者との関わりの中で自分自身を成長させることに関心がある学生 ・種目や競技経験、スポーツへの関わり方(する、みる、ささえる)は問わないが、スポーツ自体に関心がある学生 ・学外のスポーツ現場関係者との協働に前向きに取り組める学生 		
その他注意事項	分からないことや聞きたいことがあれば、気軽に質問してください。		

担当教員連絡先

研究室	8階 808号室	電話	086-256-9492	メール	hisnaga@mgt.ous.ac.jp
-----	----------	----	--------------	-----	-----------------------

経営学科 黒田ゼミ 3年次、4年次の活動概要について

2021年度（3年次）イノベーション・ラボ紹介資料

3年次イノベーション・ラボ	地域活性化に真面目に楽しく取り組むラボ
連携先	学外：真庭市湯原振興局
ラボ学生定員	約 11 名
ラボの課題	二川漫画村プレイベントの集客のための PR、プレイベントでのブースの運営実施、および二川漫画村を軸とした地域の活性化の提案をすること。
3年次ラボの取り組み概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 春学期（夏休みを含む）の活動 8月（または9月）に開催される二川漫画村プレイベントの集客のための PR、およびプレイベントでのブースの運営・実施をおこなう。 ■ 秋学期の活動 二川漫画村を親子で楽しめ、何度でも足を運んでもらえるような施設にするためのプラン作成と、その実施を目指す。
ラボ参加者にあらかじめ理解してほしいこと	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域おこしに興味・関心があること ■ 土曜日および夏休み中にもラボの活動がある。その場合には、ラボを最優先し、参加すること。 ■ 連携先等の協力者に対しては、敬意をもって接すること。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ 令和3年度 地域に飛び出せ大学生事業の一環であり、配分される事業費を使って活動する。 ■ プラン作成や実施のために、真庭市だけでなく他の地域や団体へのフィールドワークを予定しています。ゼミ仲間と積極的に議論したり活動できる人を求めます。 ■ 本ゼミを希望する（選択肢として考えている）場合は、必ず研究室の訪問をすること

2022年度（4年次）卒業研究紹介資料

3年次ラボは複数教員による共同開講もありますが、**4年次卒業研究は担当教員が単独で担当**します。

研究室名称	経営統計学研究室	担当教員	黒田正博
4年次卒業研究の取り組み概要	当研究室はデータ解析手法の研究とマーケティングデータの解析をテーマとしています。ゼミでは、Excel や統計解析ソフトを使い、実際にデータ解析をおこなっていく中でデータ解析の目的にあった解析手法の選択と解析結果の解釈方法について勉強してもらいます。卒業研究では、ゼミで学んだ解析手法を用いたマーケティングデータの解析をおこなってもらいます。		
ゼミに参加してほしい学生	<p>データ解析に興味のある学生であることが第一です。この2つは、試行錯誤を繰り返しながらの根気強く作業をしていく必要があります。そこで、次のような学生に参加してもらいたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 与えられた課題に対して、意欲的に取り組む気持ちを持っている学生 ② 課題解決のために自発的な調べができる学生 ③ 約束の期日を守ることができる学生 		
その他注意事項	特になし		

担当教員連絡先

研究室 8階 806号室、	電話 086-256-9741	メール kuroda@mgt.ous.ac.jp
---------------	-----------------	--------------------------

黒田ゼミ

経営学科 大藪ゼミ 3年次、4年次の活動概要について

2021年度（3年次）イノベーション・ラボ紹介資料

3年次イノベーション・ラボ	地域活性化に真面目に楽しく取り組むラボ
連携先	学外： 真庭市湯原振興局
ラボ学生定員	約 11 名
ラボの課題	二川漫画村プレイベントの集客のための PR、プレイベントでのブースの運営実施、および二川漫画村を軸とした地域の活性化の提案をすること。
3年次ラボの取り組み概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 春学期（夏休みを含む）の活動 8月（または9月）に開催される二川漫画村プレイベントの集客のための PR、およびプレイベントでのブースの運営・実施をおこなう。 ■ 秋学期の活動 二川漫画村を親子で楽しめ、何度でも足を運んでもらえるような施設にするためのプラン作成と、その実施を目指す。
ラボ参加者にあらかじめ理解してほしいこと	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域おこしに興味・関心があること ■ 休日および夏休み中にもラボの活動がある。その場合には、ラボを最優先し、参加すること。 ■ 連携先等の協力者に対しては、敬意をもって接すること。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ 令和 3 年度 地域に飛び出せ大学生事業の一環であり、配分される事業費を使って活動する。 ■ プラン作成や実施のために、真庭市だけでなく他の地域や団体へのフィールドワークを予定しています。ゼミ仲間と積極的に議論や活動できる人を求めます。 ■ 本ゼミを希望する（選択肢として考えている）場合は、必ず研究室の訪問をすること

2022年度（4年次）卒業研究紹介資料

3年次ラボは複数教員による共同開講もありますが、**4年次卒業研究は担当教員が単独で担当**します。

研究室名称	消費者行動研究室	担当教員	大藪亮
4年次卒業研究の取り組み概要	3年次のラボで学んだプラン作成等のスキルをさらにブラッシュアップしていきます。そのために、例えば、学内での演習や学外連携先との取り組み、アイデアコンテストへの応募、合宿等、色々な修行をしてもらう予定です。		
ゼミに参加してほしい学生	その他注意事項を参照してください。		
その他注意事項	以下の項目に当てはまる学生は、本ゼミに入ると不幸になります。 ・「自分の現在の力でできること」や「楽なこと」にしか興味がない人 ・人前で発表したり他者と議論したりするのは、まっぴらごめんだという人 ・ゼミよりもバイトやクラブを優先したい人		

担当教員連絡先

研究室	7階 714号室	電話	086-256-9554	メール	ohyabu@mgt.ous.ac.jp
-----	----------	----	--------------	-----	----------------------

経営学科 水谷ゼミ 3年次、4年次の活動概要について

2021年度（3年次）イノベーション・ラボ紹介資料

3年次イノベーション・ラボ	表町商店街活性化ラボ
連携先	学外：岡山市表町商店街（表町商店街連盟事業推進部長 矢部久智） 学内：村松潤一、湯下 薫
ラボ学生定員	約11名
ラボの課題	岡山市表町商店街の活性化に取り組みます。単にアイデアの提案に留まらず、永続的に発展させる方法について検討し、事業として推進できるアイデアは積極的に実行して効果を検証し、方策のさらなる改善提案までを目指します。
3年次ラボの取り組み概要	ラボ参加学生をいくつかの少人数のチームに分け、チームごとに活性化策を提案し、それを具現化していきます。チーム内のディスカッション、教員陣へのプレゼンテーションを繰り返し、商店街に対する効果的な活性化策を立案します。そして、活性化策の良否を判断するための評価方法についても検討し、表町商店街にて提案した活性化策を実施して成果を評価します。その結果をもとに、さらに良い方策となるよう活性化策に修正をかけてブラッシュアップしていきます。
ラボ参加者にあらかじめ理解してほしいこと	1) 主に表町商店街で現地集合・現地解散します。また、授業時間外に現地で活動することがあります。2) 活性化策の実施においては、提案したチームメンバー以外の学生も積極的に協力してください。3) 受講生が本講義で獲得する各種の能力・技能について、その向上を継続的に計測することに協力してください。
その他	・新規性の高い活性化策、効果的な活性化策の提案を目指してください。 ・活性化策の実施においては、各人の実行力が問われますので、最大限努力してください。

2022年度（4年次）卒業研究紹介資料

3年次ラボは複数教員による共同開講もありますが、**4年次卒業研究は担当教員が単独で担当**します。

研究室名称	経営情報研究室	担当教員	水谷 直 樹
4年次卒業研究の取り組み概要	ゼミ生の希望を尊重し、主に次のいずれかの卒業研究テーマを設定します。 (1) ビジネス分野 または 社会問題解決を目指した情報通信技術の活用研究 (2) 岡山市表町商店街の活性化に関わる活動に取り組んで、そのプロセスおよび成果を評価する研究的活動		
ゼミに参加してほしい学生	ビジネスにおける新しいアイデアを考案し実践してみたい学生を期待します。特に、「自分で考えること」「意見を発信すること」、これら能力を伸ばしたい学生を歓迎します。そのため、「他の人の意見を尊重できる」学生であることを望みます。		
その他注意事項			

担当教員連絡先

研究室：A1号館7階 720号室	電話番号 086-256-9442	メールアドレス mizutani@mgt.ous.ac.jp
------------------	-------------------	--------------------------------

経営学科 村松ゼミ 3年次、4年次の活動概要について

2021年度（3年次）イノベーション・ラボ紹介資料

3年次イノベーション・ラボ	表町商店街活性化ラボ
連携先	学外： 岡山市表町商店街（表町商店街連盟事業推進部長 矢部久智） 学内： 水谷直樹、湯下 薫
ラボ学生定員	約 11 名
ラボの課題	岡山市表町商店街の活性化に取り組みます。単にアイデアの提案に留まらず、永続的に発展させる方法について検討し、事業として推進できるアイデアは積極的に実行して効果を検証し、方策のさらなる改善提案までを目指します。
3年次ラボの取り組み概要	ラボ参加学生をいくつかの少人数のチームに分け、チームごとに活性化策を提案し、それを具現化していきます。チーム内のディスカッション、教員陣へのプレゼンテーションを繰り返し、商店街に対する効果的な活性化策を立案します。そして、活性化策の良否を判断するための評価方法についても検討し、表町商店街にて提案した活性化策を実施して成果を評価します。その結果をもとに、さらに良い方策となるよう活性化策に修正をかけてブラッシュアップしていきます。
ラボ参加者にあらかじめ理解してほしいこと	1) 主に表町商店街で現地集合・現地解散します。また、授業時間外に現地で活動することがあります。 2) 活性化策の実施においては、提案したチームメンバー以外の学生も積極的に協力してください。 3) 受講生が本講義で獲得する各種の能力・技能について、その向上を継続的に計測することに協力してください。
その他	・新規性の高い活性化策、効果的な活性化策の提案を目指してください。 ・活性化策の実施においては、各人の実行力が問われますので、最大限努力してください。

2022年度（4年次）卒業研究紹介資料

3年次ラボは複数教員による共同開講もありますが、**4年次卒業研究は担当教員が単独で担当**します。

研究室名称	マーケティング研究室	担当教員	村 松 潤 一
4年次卒業研究の取り組み概要	3年次ラボでの経験を踏まえ、主としてサービスを基軸とするマーケティング研究の視点から、関心あるテーマを設定し、卒業研究に取り組みます。 たとえば、商店街組織における経営者コミュニケーション、顧客の生活世界への入り込み、SNSによる顧客とのインタラクション、C to C コミュニティ、イベントによる集客、接客サービスと顧客満足、来客者の価値創造プロセス等がテーマ設定上のポイントになります。		
ゼミに参加してほしい学生	考えること、生み出すことの好きな学生、既成概念にとらわれず、自由な発想のできる学生の参加を希望します。		
その他注意事項			

担当教員連絡先

研究室：A1号館7階 718号室	電話番号 086-256-9845	メールアドレス jmura@mgt.ous.ac.jp
------------------	-------------------	-----------------------------

経営学科 湯下ゼミ 3年次、4年次の活動概要について

2021年度（3年次）イノベーション・ラボ紹介資料

3年次イノベーション・ラボ	表町商店街活性化ラボ
連携先	学外：岡山市表町商店街（表町商店街連盟事業推進部長 矢部久智） 学内：水谷直樹、村松潤一
ラボ学生定員	5名
ラボの課題	岡山市表町商店街の活性化に取り組みます。単にアイデアの提案に留まらず、永続的に発展させる方法について検討し、事業として推進できるアイデアは積極的に実行して効果を検証し、方策のさらなる改善提案までを目指します。
3年次ラボの取り組み概要	ラボ参加学生をいくつかの少人数のチームに分け、チームごとに活性化策を提案し、それを具現化していきます。チーム内のディスカッション、教員陣へのプレゼンテーションを繰り返し、商店街に対する効果的な活性化策を立案します。そして、活性化策の良否を判断するための評価方法についても検討し、表町商店街にて提案した活性化策を実施して成果を評価します。その結果をもとに、さらに良い方策となるよう活性化策に修正をかけてブラッシュアップしていきます。
ラボ参加者にあらかじめ理解してほしいこと	1) 主に表町商店街で現地集合・現地解散します。また、授業時間外に現地で活動することがあります。2) 活性化策の実施においては、提案したチームメンバー以外の学生も積極的に協力してください。3) 受講生が本講義で獲得する各種の能力・技能について、その向上を継続的に計測することに協力してください。
その他	・新規性の高い活性化策、効果的な活性化策の提案を目指してください。 ・活性化策の実施においては、各人の実行力が問われますので、最大限努力してください。

2022年度（4年次）卒業研究紹介資料

3年次ラボは複数教員による共同開講もありますが、**4年次卒業研究は担当教員が単独で担当**します。

研究室名称	会計学研究室	担当教員	湯下薫
4年次卒業研究の取り組み概要	<p>本研究室では会計を対象に研究を行っていきます。使う研究手法は文献研究が中心となりますが、場合によっては、アンケートやインタビューといった手法を用いる可能性もあります。学生の皆さんには卒業研究を通じて、問を自ら設定し、その解を得る方法を考え、実際に自分なりの解を出すという経験をしてほしいと思います。それと同時に、関連する会計の知識、論文の書き方、欲しい資料の探し方などを習得してもらいます。</p>		
ゼミに参加してほしい学生	<p>本ゼミに参加して欲しい学生は以下のような学生です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計学に興味がある学生。 ・基準や法律などのいわゆる「硬い」文章や、多くの文献を読むことに抵抗のない学生。 ・社会で起きてることに興味があり、「なぜだろう？」と疑問を持てる学生。 ・「約束を守る」「他の人に迷惑をかけない」「やるべきことをちゃんとやる」といった社会の一員としてのルールを守ることが出来る学生。 		

その他注意事項	本ゼミを希望する学生は必ず、研究室訪問を行うこと。また、訪問する際は質問事項を事前に考えてくること。
---------	--

担当教員連絡先

研究室	711号室、	電話	086-256-9810	メール	yushita@mgt.ous.ac.jp
-----	--------	----	--------------	-----	-----------------------

湯下ゼミ

経営学科 八木ゼミ 3年次、4年次の活動概要について

2021年度（3年次）イノベーション・ラボ紹介資料

3年次イノベーション・ラボ	私たちのメディアを創るラボ（メディアラボ）
連携先	学外： 山陽新聞社 学内： 松村ゼミ（松村博行先生）
ラボ学生定員	約 11 名
ラボの課題	山陽新聞社の新たな情報発信の「場」を提案すること
3年次ラボの取り組み概要	<p>●春学期「課題の発見・設定」</p> <p>山陽新聞社から提起された課題を理解する。新聞社の経営や地方紙のビジネスの実態、記者の仕事について講義や施設見学などを通じて理解を深める。</p> <p>山陽新聞が立脚する岡山県について現状と課題を調査研究し、地域の将来展望を考える。</p> <p>●秋学期「課題の解決」</p> <p>小グループで課題の解決に向けたアイデアを議論し、成案をまとめる。山陽新聞社に成果を発表し、評価を受ける。</p>
ラボ参加者にあらかじめ理解してほしいこと	自ら主体的に考え、調べて意見を出し合い、まとめて発表するといったスキルの向上につなげてください。そのためにあえて抽象的な課題にしています。自身が課題にしっかり向き合い、真剣に取り組むことが卒業研究にもつながります。
その他	新聞やテレビ、ネットで、特に岡山に関するニュースに意識して接することを求めます。

2022年度（4年次）卒業研究紹介資料

3年次ラボは複数教員による共同開講もありますが、**4年次卒業研究は担当教員が単独で担当**します。

研究室名称	情報メディア研究室	担当教員	八木一郎
4年次卒業研究の取り組み概要	<p>マスメディアの特性やインターネットの普及による新しい情報環境について研究を深める。</p> <p>卒業研究は、3年次ラボでの取り組みを踏まえた調査研究の報告書もしくは論文をもって成果とする。</p>		
ゼミに参加してほしい学生	<p>何事にも好奇心を持って接し、社会の動きや時事問題に興味関心を持てる学生。</p> <p>常に学ぶ意欲を持ち続け、グループでの活動に積極的に参加できる学生。</p>		
その他注意事項	ラボの選択は4年次につながるのので、研究室訪問などで下調べを入念にしてください。		

担当教員連絡先

研究室	6階 603号室	電話	086-256-9758	メール	yagi@mgt.ous.ac.jp
-----	----------	----	--------------	-----	--------------------

経営学科 松村ゼミ 3年次、4年次の活動概要について

2021年度(3年次) イノベーション・ラボ紹介資料

3年次イノベーション・ラボ	私たちのメディアを創るラボ (メディアラボ)
連携先	学外： 山陽新聞社 学内： 八木ゼミ(八木一郎先生)
ラボ学生定員	約 11 名
ラボの課題	山陽新聞社の新たな情報発信の「場」を提案すること
3年次ラボの取り組み概要	<p>●春学期「課題の発見・設定」</p> <p>山陽新聞社から提起された課題を理解する。新聞社の経営や地方紙のビジネスの実態、記者の仕事について講義や施設見学などを通じて理解を深める。</p> <p>山陽新聞が立脚する岡山県について現状と課題を調査研究し、地域の将来展望を考える。</p> <p>●秋学期「課題の解決」</p> <p>小グループで課題の解決に向けたアイデアを議論し、成案をまとめる。山陽新聞社に成果を発表し、評価を受ける。</p> <p>複数の先生方でラボを開講される場合、同じ内容で記載してください。</p>
ラボ参加者にあらかじめ理解してほしいこと	自ら主体的に考え、調べて意見を出し合い、まとめて発表するといったスキルの向上につなげてください。そのためにあえて抽象的な課題にしています。自身が課題にしっかり向き合い、真剣に取り組むことが卒業研究にもつながります。
その他	新聞やテレビ、ネットで、特に岡山に関するニュースに意識して接することを求めます。

2022年度(4年次) 卒業研究紹介資料

3年次ラボは複数教員による共同開講もありますが、**4年次卒業研究は担当教員が単独で担当**します。

研究室名称	国際政治経済学研究室	担当教員	松村博行
4年次卒業研究の取り組み概要	<ul style="list-style-type: none"> ・国際関係, 日本政治, グローバル経済, 安全保障などの分野から, ゼミ生の関心に従ってテーマを決めて研究を行います。 ・文献研究が中心ですが, 選んだテーマによっては, アンケートやインタビュー調査も行ってもらいます。 ・なぜ?と問う心, 「ホンマか～」と疑う心を忘れずに! 		
ゼミに参加してほしい学生	<p>① 本や論文をしっかり読むことができる学生: インプットがなければよい卒論は書けません。</p> <p>② 議論に参加し, 自分の意見を表明できる学生: ゼミナールの良いところは, 自分の発表に対し, 他の人がフィードバックをくれるところです。</p>		
その他注意事項	新型コロナウイルスの感染状況次第ですが, 4年次には他大学との合同ゼミ合宿を実施します。ゼミ生は必ず参加して下さい。		

担当教員連絡先

研究室	7階 719号室	電話	086-256-9729	メール	yuki-mat@mgt.ous.ac.jp
-----	----------	----	--------------	-----	------------------------

経営学科 鷺見ゼミ 3年次、4年次の活動概要について

2021年度（3年次）イノベーション・ラボ紹介資料

3年次イノベーション・ラボ	赤磐市・和気町・備前市3市町の観光まちづくりラボ(仮称)
連携先	学外：東備広域観光連携協議会（赤磐市・和気町・備前市） 学内：横山ゼミ（横山ひとみ先生）
ラボ学生定員	約11名
ラボの課題	<u>地域のプロモーション映像の制作および着地型旅行商品の企画立案を通じた観光による地域の活性化を実現すること</u>
3年次ラボの取り組み概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 春学期の活動 <ul style="list-style-type: none"> ➢ フィールドワーク等も含め、<u>3市町の資源を知り共有する活動</u> ➢ 課題解決に必要な<u>知識・スキルの習得</u> ➢ <u>プロモーション映像の制作と共有（1回目）</u> ● 秋学期の活動 <ul style="list-style-type: none"> ➢ <u>新たな視点での映像の制作（2回目）</u>、映像制作スキルを高める活動 ➢ <u>着地型旅行商品の企画・制作</u> ➢ <u>活動の総括としての現地での発表会、報告書の作成</u>
ラボ参加者にあらかじめ理解してほしいこと	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>週末や休業期間中等にフィールドワークを行うので、予定を調整できる</u>学生の参加を求める。また、授業には不可抗力以外<u>必ず出席すること</u>。 ● <u>地域に密着した活動に興味のある学生</u>の参加を希望する。 ● <u>チームワークを重視し、積極的に活動できる学生</u>の参加を希望する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>必ず研究室訪問を実施し、希望を提出してください</u>。 ● フィールドワーク等では自己負担が発生することがあります。 ● <u>約束を守ることを最低限の条件</u>と考え、当ラボに参加してほしい。

2022年度（4年次）卒業研究紹介資料

3年次ラボは複数教員による共同開講もありますが、4年次卒業研究は担当教員が単独で担当します。

研究室名称	観光マーケティング研究室	担当教員	鷺見哲男
4年次卒業研究の取り組み概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光による地域活性化について、3年次の経験を踏まえ研究を深める。 ● 対象となる地域は3年次ラボの3市町のほか、メンバーの希望等を確認しながら、4年次スタート時点で改めて検討する。 ● 4年次の卒業研究は、<u>対象地域を調査した結果の報告書及び観光振興についての施策提案等の研究報告をもって成果とする</u>。 		
ゼミに参加してほしい学生	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>他者とのコミュニケーション</u>を積極的にとることをいとわない学生 ● チームでの活動で、役割をしっかりと果たす責任感を意識できる学生 ● <u>柔軟な視点でものごとを観察したいという意欲</u>のある学生 		
その他注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>必ず研究室を訪問し、希望を提出してください</u>。 		

担当教員連絡先

研究室	7階706号室、	電話	086-256-9846	メール	wash_t@mgt.ous.ac.jp
-----	----------	----	--------------	-----	----------------------

経営学科 横山ゼミ 3年次、4年次の活動概要について

2021年度(3年次)イノベーション・ラボ紹介資料

3年次イノベーション・ラボ	赤磐市・和気町・備前市3市町の観光まちづくりラボ(仮称)
連携先	学外：東備広域観光連携協議会(赤磐市・和気町・備前市) 学内：鷺見ゼミ(鷺見哲男先生)
ラボ学生定員	約11名
ラボの課題	<u>地域のプロモーション映像の制作および着地型旅行商品の企画立案を通じた観光による地域の活性化を実現すること</u>
3年次ラボの取り組み概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 春学期の活動 <ul style="list-style-type: none"> ➢ フィールドワーク等も含め、<u>3市町の資源を知り共有する活動</u> ➢ 課題解決に必要な<u>知識・スキルの習得</u> ➢ <u>プロモーション映像の制作と共有(1回目)</u> ● 秋学期の活動 <ul style="list-style-type: none"> ➢ <u>新たな視点での映像の制作(2回目)</u>、映像制作スキルを高める活動 ➢ <u>着地型旅行商品</u>の企画・制作 ➢ <u>活動の総括としての現地での発表会、報告書の作成</u>
ラボ参加者にあらかじめ理解してほしいこと	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>週末や休業期間中等にフィールドワークを行うので、予定を調整できる学生</u>の参加を求める。また、授業には不可抗力以外<u>必ず出席すること</u>。 ● <u>地域に密着した活動に興味のある学生</u>の参加を希望する。 ● <u>チームワークを重視し、積極的に活動できる学生</u>の参加を希望する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>必ず研究室訪問を実施し、希望を提出してください。</u> ● フィールドワーク等では自己負担が発生することがあります。 ● <u>約束を守ることを最低限の条件</u>と考え、当ラボに参加してほしい。

2022年度(4年次)卒業研究紹介資料

3年次ラボは複数教員による共同開講もありますが、4年次卒業研究は担当教員が単独で担当します。

研究室名称	社会心理学研究室	担当教員	横山 ひとみ
4年次卒業研究の取り組み概要	当研究室はこころの働きを科学します。ゼミでは、卒業研究論文を書く上で必要な知識である、心理学研究法について学びます。卒業研究では、各自が、社会で暮らす中で抱く素朴な疑問(特に、認知・感情・行動)について研究します。また、どの研究法や分析方法が適切か等について相談や議論をしながら、研究を進めていきます。		
ゼミに参加してほしい学生	社会心理学(or心理学)とデータ分析に興味がある学生を歓迎します。加えて、①自主的に研究を遂行する、②自分の意見を積極的に発信するとともに相手の発言やその意図をしっかりと理解しようとする、③論理的に物事を考える、④困ったときは一人で悩まず相談する学生の参加を希望します。		
その他注意事項	当ゼミ配属希望者は必ず研究室訪問をしてください。 どんなことに興味があるかについて質問します。		

担当教員連絡先

研究室	8階804号室	電話	086-256-9618	メール	yokoyama@mgt.ous.ac.jp
-----	---------	----	--------------	-----	------------------------

以上が、3年次生ゼミ選択用の経営学科教員13名のゼミ紹介です。